

様式第7号（第7条関係）

公の施設事業報告
（令和2年度分）

令和3年5月25日

下妻市長 様

所在地	下妻市本城町三丁目
名称	下妻市自治振興公社
代表者氏名	理事長 齋藤 章
電話番号	0296-43-2

下妻市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例第11条の規定により、次のとおり令和2年度事業報告書を提出します。

1 公の施設の名称

小貝川ふれあい公園ネイチャーセンター及び有料公園施設

2 管理業務の実施状況

管理運営に関する基本協定書に基づき、関係法令及び条例の規定を遵守することはもとより、自然環境保持の啓発活動に取り組みながら、公園を利用する幅広い年齢層の方々に親しみやすい公園となるよう努め、効率的な施設の維持管理を総合的に推進した。

また、下妻市新型コロナウイルス感染症対策本部の決定を受けて、ネイチャーセンター及び各施設等に関して、それぞれ利用の休止や制限が設けられた。

【(1)ネイチャーセンター】

感染症対策に関する周知看板を掲示し、ネイチャーセンターとギャラリー入口にそれぞれ消毒用デイスペンサーを設置した。ロビー設置の「赤ちゃんルーム」(おむつ替え用ベビーベッド・授乳用スペース)については、使用後にその都度消毒を行い、感染拡大防止に努めた。

また、季節に応じた館内装飾(クリスマス・正月等)や、展示物のレイアウト等については、ソーシャルディスタンスを保てるよう考慮しながら、設置を行った。

*感染症対策による利用の休止及び制限

3月11日(水)～6月8日(月)	利用休止
6月9日(火)～6月30日(火)	県外在住者利用休止
7月23日(木・祝)～9月30日(水)	東京都内在住者利用休止
1月14日(木)～2月15日(月)	利用休止
2月16日(火)～4月9日(金)	県外在住者利用休止

①年間利用状況

年間入館者数	55,268人
--------	---------

②維持管理

管理事務所とギャラリー(常設展示場及び企画展示場)を兼ねた施設であることから、諸設備の点検を定期的実施するとともに、ギャラリー内の通路を拡張するため展示方法を工夫し、来館者の安全確保に努めた。その他定期巡回を実施し、館内や建物周辺の危険箇所等の早期発見に努めた。

また、感染症対策による長期閉館の際、職員で昆虫標本棚の塗装や展示水槽周辺(水槽台、壁面、名板)のリニューアルを行った。

③施設の運営

ア)自主企画展

夏の特別企画展として「世界の甲虫展」を実施し、珍しい甲虫生体を15種類展示した。その後、「ネイチャーセンターフォトコンテスト作品展」を開催し、動物・自然愛護の啓発や意識向上に努めた。

催事名	期間
夏の特別企画展「世界の甲虫展」	7/23(木・祝)～8/30(日)
ネイチャーセンターフォトコンテスト作品展	11/7(土)～12/13(日)

イ) 共催企画展

自然や動植物に関する共催企画展を開催し、地域の各団体の活動発表の場を提供するとともに、啓発活動を行い、ギャラリーを有効活用した。

また、感染症対策による閉館等により実施できなかった展示については、特別展として作品を入れ替えながら合同展示を行った。

催事名	期間	共催団体名
春の山野草展 ※感染症対策による閉館のため中止	4/17(金)～4/19(日)	下妻市自然愛護協会
写真展「各々のレンズがとらえた自然」 ※感染症対策による閉館のため延期	4/25(土)～5/14(木)	悠遊写楽クラブ
写真展「めぐりくる花の季節」 ※感染症対策による閉館のため延期	5/15(金)～5/31(日)	フォトクラブ ^{あゆみ} 歩
押し花展「身近な自然・景色・風景」 ※感染症対策による閉館のため延期	5/15(金)～5/31(日)	押し花サークル
水彩画展「身近な花と自然の風景」 ※秋の山野草展中止のため期間延長	9/5(土)～9/20(日) 9/27(日)	下妻水彩画会
秋の山野草展 ※感染症対策のため中止	9/25(金)～9/27(日)	下妻市自然愛護協会
ネイチャーセンター協力団体アート展 ※延期団体合同特別展示	2/16(火)～4/4日(日)	悠遊写楽クラブ フォトクラブ ^{あゆみ} 歩 押し花サークル

④ 防火管理

電気工作物の定期点検、並びに消防用設備等点検を実施し、恒常的に施設の安全確認や避難通路の点検等を行った。

⑤ 開館時間等の延長

ネイチャーセンター開館時間(9～16時)を、夏季期間(4～10月)は30分延長して16時30分まで開館し、土日祝日は利用状況に応じ、適宜延長した。

さらに、冬季期間(11～3月)のパークゴルフ利用時間(9時30分～16時)については、30分早めて9時からとし、年間を通して同じ時間から利用可能にすることで、利用者の利便性向上と利用促進に努めた。

⑥意見収集

お客様からのご意見・ご要望等を広く収集し、改善・対応策を協議した。対応可能なものについては迅速に対応し、利便性向上に努めた。

また、対応が困難なもの等については市主管課と情報を共有し協議することで、今後の改善策を検討した。

【(2)有料公園施設 ピクニック広場】

①パークゴルフ場 *4コース:36ホール

感染症対策に関する看板を掲示し周知するとともに、受付の際には利用に関する注意事項案内と併せて、再度マスク着用等についてお願いした。

また、大会等の際には、利用者名簿の提出をお願いし、感染症対策への理解と協力を得た。

*感染症対策による利用の休止及び制限

3月14日(土) ~ 5月25日(月)	利用休止
5月26日(火) ~ 6月8日(月)	市外在住者利用休止
6月9日(火) ~ 6月30日(火)	県外在住者利用休止
7月23日(木・祝) ~ 9月30日(水)	東京都在住者利用休止
1月14日(木) ~ 2月15日(月)	利用休止
2月16日(火) ~ 4月9日(金)	県外在住者利用休止

ア)年間利用状況

年間利用者数	年間利用料(市納付額)
12,713 人	3,048,700 円

【性別内訳】

男性	女性
7,804 人	4,909 人
61.4 %	38.6 %

【地域別内訳】

市 内	市 外(県内)	県 外
4,678 人	7,417 人	618 人
36.8 %	58.3 %	4.9 %

イ)維持管理

定期的に巡回し、パークゴルフ場内の不具合や危険箇所等を早期発見・修繕し、禁止行為等の看板を設置するなどして注意喚起を行い、利用者の安全確保に努めた。

さらに、用具(クラブ・ボール)貸出の際は、消毒や清掃を毎回実施し、感染症対策にも努めた。

ウ)利用促進

会員券(年間・半年間)や回数券(6回綴り)の割引を周知し、茨城県民の日には県内在住者を対象に無料で開放するなどの利用サービスに努めた。

また、市内各施設にパンフレットの配布協力を依頼し、さらに公園内に利用案内看板を設置する等広くPRを行い、利用促進にも努めた。

【主催大会】

「ネイチャーセンター主催」のパークゴルフ大会については、感染症対策を十分に行いつつ、大会当日の受付や場所を考慮し、分散しながら屋外で行った。

また、開会式や表彰式を行わず、後日成績表を配布することで密を防ぎ、大会を無事終了させた。

大会名	日 時	参加者数
パークゴルフネイチャーセンター杯 ※感染症対策による利用制限のため中止	6/4(木)	—
パークゴルフネイチャーセンター杯	10/14(水)	67人

【主な後援大会】

「下妻市パークゴルフ協会主催」の各大会については、ネイチャーセンターが後援となり、感染症拡大防止のための対策や運営に理解をいただきながら、円滑な大会運営ができるように協力した。

大会名	日時
月例大会	8/5(水)、26(水)、 9/9(水)、 10/21(水)、 11/11(水)、 12/9(水)、10(木)、 3/24(水)
協会杯	11/18(水)
男女ペアマッチ大会	10/6(火)
市長杯市民パークゴルフ大会	11/5(木)
体育協会杯市民パークゴルフ大会	11/18(水)

※利用休止中により中止となった大会を除く。

②バーベキュー場 *炉:10基

感染症対策に関する案内板を掲示し周知するとともに、受付の際には利用に関する注意事項と併せて、飲食時以外のマスク着用と利用者名簿の提出をお願いし、感染症対策への理解と協力を得た。

*感染症対策による利用の休止及び制限

- 3月14日(土) ~ 6月30日(火) 利用休止
- 7月23日(木・祝) ~ 9月30日(水) 東京都在住者利用休止
- 1月14日(木) ~ 2月15日(月) 利用休止
- 2月16日(火) ~ 4月9日(金) 県外在住者利用休止

ア) 年間利用状況

年間利用者数	年間利用料(市納付額)
457人	94,000 円

【地域別内訳】

市 内	市 外(県内)	県 外
89 人	347 人	21 人
19.5 %	75.9 %	4.6 %

イ)維持管理

適宜巡回し、炉などの設備点検を行い、不具合や危険箇所等を早期発見・修繕し、利用者の安全確保に努めた。

また、貸出用具(網・鉄板等)の入念な清掃や冠水後の消毒を実施し、衛生上も安心して利用できるよう努めた。

ウ)利用促進

市内各施設にパンフレットの配布協力を依頼し、さらに公園内に利用案内看板を設置する等広くPRを行い、利用促進に努めた。

【(3)こども広場】

①維持管理

遊具等の巡視点検、及びゴミの回収を毎日実施し、故障や危険箇所の早期発見に努め、市主管課と連携し、整備・改修等の処置を行った。

②安全管理

遊具等の故障や危険箇所については市主管課と連携しながら、「使用中止」等の措置を講じるなどし、修理・改修等を行うことで利用者の安全確保に努めた。

【(4)中流コアゾーン】

①維持管理

毎日(休館日を除く)巡回を実施し、ゴミの回収等を行い環境美化に努めた。

また、パークボランティア団体の事務局として、活動や花壇の整備・維持管理を行った。令和2年度は感染症対策により、パークボランティアの活動は全て中止となったため、花の苗の寄付による花壇への定植や除草作業など、全ての作業・維持管理を事務局で行った。

飲料水・冷蔵自動販売機(各1台)については、利用者からの両替や機械の不具合による返金等に随時対応し、収益向上に繋げた。

年間販売手数料

632,972 円

【(5)屋外ふれあいトイレ】

①維持管理

上流及び下流トイレの清掃を委託し、1日2回の清掃を行った。

また、施設周辺のごみ回収等も行い、環境美化にも努めた。

②安全管理

巡回の際には、清掃及び施設の状況を確認し、設備の不具合等の早期発見・対応に努めた。

また、故障の際等は迅速に対応し、利用者が不便をきたすことのないよう努めた。

【(6)レンタサイクル】 *自転車:12台(大人・子供用各6台)

感染症対策として、貸出用自転車やヘルメット等は、使用後に消毒を行った。

*感染症対策による利用の休止及び制限

3月14日(土) ~ 6月30日(火) 利用休止

7月23日(木・祝) ~ 9月30日(水) 東京都在住者利用休止

1月14日(木) ~ 2月15日(月) 利用休止

2月16日(火) ~ 4月9日(金) 県外在住者利用休止

ア)年間利用状況

年間利用台数	年間利用料(市納付額)
118 台	11,800 円

①維持管理

週1回の点検清掃を行い、年1回の専門業者(市内:篠崎輪業)による保守点検を実施した。
また、タイヤの空気圧やブレーキ等を点検し、不具合がないことを確認したうえで貸出を行った。

②安全管理

定期的にサイクリングロードの巡回を行い、ルート内の危険箇所等の早期発見と、利用者の安全確保にも務めた。

さらに、保守点検の際にTSマーク(※1)付帯保険(※2)に加入し、補償に備えた。

※1 TSマーク:自転車安全整備士が点検確認した普通自転車に貼付されるもの。

※2 付帯保険:傷害保険と賠償責任保険、被害者見舞金(赤色TSマーク)が付く。

保障内容:自転車 1 台につき年額2千円(整備費込)、傷害補償(搭乗者):死亡又は重度後遺障害100万円、入院15日以上一律10万円、賠償責任補償(第三者):限度額1億円、被害者見舞金(搭乗者・第三者):一律10万円

【(7)自然環境保全】

①総合学習の支援

小中学生の総合学習カリキュラム(※3)における情報の提供・説明に協力した。

※3 総合学習カリキュラム:自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てるために児童・生徒の発達段階や学習能力に応じて、順序立てて編成した教育内容の計画。

【主な支援内容】

オオムラサキの生態、保護活動について
小貝川ふれあい公園の生い立ちについて
小貝川ふれあい公園の花畑について
小貝川ふれあい公園内の各施設における利用状況等について
ネイチャーセンターの建物について
ネイチャーセンター常設展示物や水槽内の魚について

②オオムラサキの保護

中流コアゾーンにあるオオムラサキ飼育小屋で羽化した成虫への給餌を行い、「オオムラサキと

森の文化の会」と協力し、保護・育成に努めた。今年度は、例年と比べて多くの成虫が確認できた。

また、ネイチャーセンター内ギャラリーに常設展示されている「オオムラサキの標本・成長写真」や「小貝川周辺の蝶」のパネルについての説明板を更新し、電話での問い合わせや来館した希望者には説明を行い、啓発活動にも努めた。

【(8)小貝川ふれあい公園ネイチャーセンター管理経費の収支状況】

公の施設の管理に係る収支状況報告書(令和2年度)				
単位:円				
		予算額	決算額	比較
収入項目	指定管理委託料	32,336,000	32,336,000	0
収入合計(A)		32,336,000	32,336,000	0
支出項目	職員給与等	9,747,000	8,724,070	1,022,930
	報償費	30,000	10,000	20,000
	旅費	1,000	0	1,000
	消耗品費	1,238,000	1,314,590	△76,590
	燃料費	21,000	13,645	7,355
	食糧費	1,000	0	1,000
	被服費	15,000	12,355	2,645
	印刷製本費	485,000	61,870	423,130
	光熱水費	4,440,000	3,141,522	1,298,478

修繕料	550,000	837,291	△287,291
通信運搬費	174,000	196,308	△22,308
手数料	575,000	428,265	146,735
保険料	84,000	76,250	7,750
事業費	174,000	164,630	9,370
委託管理費	10,912,000	10,487,069	424,931
維持管理費	1,509,000	1,668,302	△159,302
使用料	396,000	393,984	2,016
負担金	30,000	30,000	0
公租公課費	41,000	34,500	6,500
消費税	1,913,000	1,280,655	632,345
翌年度返納	0	3,460,694	△3,460,694
支出合計(B)	32,336,000	32,336,000	0
収支(A)－(B)	0	0	0